

若い力を活かし、 創造あふれるまち。

若い世代の人々が、積極的に社会参加できるまち。
世代間交流を促し、地域を元気にしていく取り組みです。

地域に根ざした中学生の活動。学校での学びを活かした高校生の実習体験。
そして、大学生による専門性を活かした提案。
若い世代の創造力が、これからの愛西市をつくっていきます。

A city full of creativity, utilizing the power of youth.
A city where members of the younger generation can actively participate in society.
There are events designed to energize local communities, promoting communication between all generations.
The local activities of junior high school students; the practical education of high school students; and the plans of university students to use their specialties: The creativity of the younger generation is what will shape the future of Aisai.

高 校生たちが盛り上げる 愛西市の一大イベント。

愛西市民の一大イベントとなっている文化祭・バザーをはじめ、スポーツフェスティバルや地域のイベントに、地元の高校生たちが積極的に参加し、盛り上げています。地域の伝統芸能を継承したり、地元の産業である農業を学んだり、日ごろの授業や部活動の成果の発表を通して市民の皆さんと交流し、元気あるまちづくりに貢献しています。また、若い世代が住み続けたいまちにするために、高校生たちが考え、提案する取り組みも始まっています。



中 学生がボランティアで支える 地域の納涼まつり。

毎年8月上旬、市内で開催される納涼まつり・盆おどり大会。愛西音頭をはじめとする盆おどりをメインに、抽選会やバザーなど、地区それぞれに趣向を凝らした催しは、愛西市の夏の風物詩。世代を超えて多くの市民が集います。実行委員会の皆さんとともに、盆おどりの櫓やテントなどの設営を担うのが、ボランティアで参加する地域の中学校の生徒たち。大人たちと力を合わせ、まつりを支え、盛り上げています。



●高校生たちが市の課題と解決策を提案するワークショップ。



●木工や電気の講座で小学生とふれあう佐織工業高校の生徒さん。



●文化祭・バザーで、学校の実習で育てた花や野菜を販売する佐屋高校の生徒さん。



大 学生たちの専門知識を活かした、 季節の野菜を美味しく食べるレシピ。

農業は愛西市の基幹産業ですが、高齢化と後継者不足により年々縮小しています。そこで、「愛西市、愛西市農畜産業振興会と名古屋学芸大学との連携協力に関する協定」を締結し、産官学の連携によって農業の活性化と市民の健康増進を目的とした取り組みが始まっています。名古屋学芸大学の管理栄養学部の学生たちが愛西市特産の野菜を使用したレシピの作成を担当。管理栄養学を学んでいる学生たちの専門的な知識と若いセンスで若い世代へのアピールを目指しています。季節の野菜を使い、季節ごとに3品ずつ計12品のレシピを作成し、野菜のおいしさ、野菜のパワーを伝えています。



●野菜の日のPRイベントに訪れた市民と名古屋学芸大学の学生の皆さん



●佐織工業高校の伝統ともなったミニ鉄道。地域のイベントに積極的に参加し、子どもたちの人気者です。



●スポーツフェスティバルで子どもたちと交流する清林館高校の生徒さん。

A i Report

愛西市伝統の農業に、新しい発想とアイデアを。
つくることも食べることも大好きな高校生のチャレンジ。

市内にある愛知県立佐屋高等学校には農業科があり、伝統的に稲作、レンコンやトマトの栽培など愛西市特産の農産物の育成を学んでいます。稲作ではアヒルのひなを水田に放ち、害虫や雑草の駆除に役立つ無農薬農法を研究し、生物多様性を保全する活動も行っています。特産品であるレンコンは栽培の技術継承と地域活性化につなげる商品開発、広報活動などに取り組んでいます。レンコンなど特産品を使ったメニュー開発では農業科だけでなく学校中の生徒も積極的に参加。地域の飲食店と一緒に地元野菜を使った料理やスイーツを考案したり、大手チェーンと共同でカレーを開発するなど、地域はもちろん全国でも話題となるアイデアメニューを開発し、愛西野菜の普及に貢献しています。

